

宮崎産の木材視察のご報告

日本の森で育った無垢の木で建てる家。無垢の木は美しい木目とやわらかな木肌をいかして、家を支える構造材から趣をかもしだす化粧材まで、あらゆるところで部材としていかされます。アンハウスでもこの度国産材を標準とした商品「風の家「木づかい」」を商品企画中です。その商品開発の一環として、昨年の紀州産材視察につづき、去る1月23、24日に宮崎に行き、宮崎県製材所及び宮崎県木材利用技術センターの視察に行ってきましたので、その様子をご報告致します。



まずはその工場の規模！
と～っても広い工場です！

さてここでクイズです！

Q. 写真のように四角い木の中に矢が刺さっています。どうやって入れたでしょう？

答えは右下にあります！



圧縮加工で強度もUP！

木はまっすぐで四角いもの...ばかりではありません。こんな風に曲げることもできます！



宮崎ドームも宮崎産杉でつくられているんです！
宮崎産杉でこんな大きな建物も建築できるんですね。

和歌山県と宮崎県の両産地の特徴を比較してみました。

| 和歌山県産 V S 宮崎県産 | 和歌山県産材 | 宮崎県産材 |
|----------------|--|---|
| 生産樹種の割合 | 杉：檜の割合は6：4 | 杉・檜の割合 9：1 |
| 生育環境と利点 | 山地に植林されている為、搬出コストが高い 建築用に植林（植林間隔が狭い）されている為、年輪が細かく、強度が一般的に強い | 平野に植林されている為、搬出コストが安く、杉の生産量日本一（シェア約15%）に成長。製材工場の数及び1社当たりの出荷量も多い。→安定配給が期待できる。 造船用に植林（植林間隔が広い）されている為、早く成長するが、年輪が粗い。→現在は、建築用に植林（植林間隔を狭く） |
| 木の特徴 | 色白で綺麗。銘木と言われる。 | 柔らかい為、曲げ材、圧縮材として加工がしやすく、いろいろな用途に利用できる。 シロアリに強いオビ杉（水に濡れた状態で使用する造船用に適していた）色黒で、「気根」と言われる黒い小さな斑点が出来る。→耐久性が高い |
| 強度 | 強度が強い 杉E（ヤング係数）70以上 檜E（ヤング係数）90以上 | 強度は強くないが、材寸を上げるなり、圧縮するなりすれば、建築用にも充分通用 E（ヤング係数）50以上 |
| 代表的な製材会社 | 株式会社 山長商店 江戸時代からの山林家で、製材会社の老舗中の老舗 植林から育林、伐採、製材、乾燥、プレカット加工まで一環生産 真壁の「現し工法」で真価を発揮 | 木脇産業株式会社 宮崎県の杉の生産量の急成長に貢献 山を購入、伐採、製材、乾燥、加圧注入処理加工、プレカット加工まで製材会社の百貨店 (伐採した後はもちろん、植林をしています。) |

もっとつかおう国産材

日本の面積の約7割が森林だということをご存知ですか？その内の約4割が戦後人工的に植えられたスギやヒノキです。ところが外国材の輸入増加と国産材の価格の低迷で林業が成り立たず、日本の森林は荒廃しているのが現状です。では荒廃した森林を元気に戻すには、どうすればいいのでしょうか？それには枝打ちや間伐といった木への手入れが不可欠。森林は畑と一緒に育てるのです。国産材を使うことは森林を生き返らせることに繋がります。水をきれいにしたり豊かな恵みをもたらします。

クイズの答え 柔らかいので圧縮してから穴に通し、また戻しています。